

## 第2643回例会

2016-2017 No.19 2016年12月1日



例会日  
 第1・2・4 木曜日 12:30  
 第3 木曜日 18:30  
 第5 木曜日 18:00  
 例会場：「カンティーナ」  
 逗子市新宿 1-3-15  
 TEL：046-870-6440  
 事務所：逗子市桜山 6-3-29  
 TEL & FAX：046-873-0226

会長◆菊池 尚  
 会長以外◆村松 邦彦  
 副会長◆村松 邦彦  
 宝子山 泰久  
 幹事◆松田 壽之  
 SAA◆矢部 光治  
 会計◆市川 浩  
 直前会長◆桐田 吉彦  
 会報委員長◆宝子山 泰久

本日の進行 (12:30)  
 年次総会・役員・クラブ  
 管理運営上半期報告  
 下半期計画発表  
 一次回のお知らせ—  
 12月8日(木)(12:30)  
 奉仕プ・広報・会員増強・  
 R財団米山 上半期報告・  
 下半期計画発表

E-mail: [zushirc@sage.ocn.ne.jp](mailto:zushirc@sage.ocn.ne.jp)  
 Website: <http://www.zushi-rc.com/>

## — 2642回 例会記録 2016年11月24日 —

### 宝子山会長代理の時間

みなさん、こんにちは。副会長の宝子山です。本日は菊池会長が御用のため欠席されましたので、私が代理を務めさせていただきます。天気予報通り、未明から雪模様。11月の降雪は何と54年ぶり。そして積雪は観測史上初めてだそうです。

今日は私の店のことで恐縮ですが、今年創業60周年を迎え、これを記念しての文化イベントのお話をさせていただきます。

日本が世界に誇る古典文学「源氏物語」をテーマに、王朝絵巻展は明後日26日より4日間、講演会は27日・28日の2日間開催致します。講師は早稲田大学名誉教授・文学博士で平安王朝文学研究のスペシャリストの中野幸一先生。逗子在住の学者さんなので、ご存知の方も多いと思います。中野先生は源氏物語についての著作を数多く発表されておりますが、この度「正訳源氏物語本文対照」と言う十冊の大作を出されました。本文と対照させながら、作者紫式部の意図に忠実かつ美しい現代語でのわかり易い訳文は、「ものがたり」の本質を見事に醸し出していると、各界の著名人より絶賛を浴びております。この作品の刊行を記念しての講演会は早々に予約満席となり、改めて源氏物語への関心の高さに驚かされました。

一方、王朝絵巻展は中野先生ご自身の秘蔵コレクションを特別公開していただくもので、本来ならば美術館のガラスケースの中で展示されるような江戸前期の貴重な肉筆絵巻も多数出品されます。ご予約不要・入場無料ですので是非ご覧いただければと思います。

4年後の東京オリンピックを控えて、日本の素晴らしい伝統文化に世界から大きな関心が集まっています。

私共、日本の伝統工芸を代表する「きもの」と言う仕事に携わる者として、今回の様な文化イベントを通して、地元の皆さんに大切な和の文化をより深くご理解していただく場を提供していくことは、我々に課せられた重要な使命と考えております。

私も職業奉仕委員会の一員でもございます。今後もこの様な催しを企画し、職業を通して、微力ながら地域の方々に様々な形で奉仕できる様、心掛けて参りたいと思います。

本日の卓話は理学博士蟹江康光先生をお迎えしての「関東大震災の航空写真について」のお話。蟹江先生は日本地質学会の会員で三浦半島活断層調査会の顧問もされておられます。軍政色の強かった当時、関東大震災の被害状況がほとんど情報開示されなかった時代の海軍による貴重な航空写真等の資料を交えての秘話、大変興味深いです。

突然真冬のような寒さとなりました。会員の皆様には風邪などひかれませんよう健康にはくれぐれもご留意ください。

### 報告

**松田幹事** 到着物：京都紫野RC40周年記念誌  
 (式典出席者のみ配布)

**委員会報告** 岡本職業奉仕委員長…17日の100%出席例会は100%出席達成出来ました。ありがとうございました。



11月の誕生日・結婚記念日のお祝い(敬称略)

会員：村田典昭

パートナー：村松洋子(邦彦)

結婚：安藤脩二・久美子、石田隆・美恵子、山本由夫・康子、河野征一郎・富美子、村松邦彦・洋子、村田典昭・昌美、中根康夫・美穂子、林智海・悠美



おめでとうございませう  
 八十一歳のお祝い

R財団ニコニコ

臼井 ￥10,200 矢部(房) ￥1,020

米山ニコニコ

矢部(房) ￥50,000 岡本 ￥10,000

矢部(光) ￥1,000

# 卓話 関東大震災の航空写真について

あーすコンサル

蟹江 康光氏 蟹江 由紀氏



蟹江康光代表



写真の解説をされる蟹江由紀氏



横須賀海軍航空隊による震災写真二集の表紙

蟹江代表は、横浜国立大学で地学を専攻。米国 UCLA や九州大学にて研究活動をされながら、横須賀市の自然・人文博物館主任学芸員として活躍された。本日は関東大震災の航空写真を中心に卓話を頂いた。

- ▶ 若いころから1億年くらい前のアンモナイトや化石を求めて調査し、北海道まで列車で行ったこともある。列車も大好きで6年前に横須賀線100年という本も出した。
- ▶ 1923年、今から94年前の9月1日に関東大震災と呼ばれる大災害が起きた。逗子では、亡くなった人は多くなかったが、このあたり90%以上の家が倒壊し、津波で別荘が流されたりなど大きな被害がでた。
- ▶ 9月1日は、台風が多く訪れるという二百十日で、前日に台風が来ていた。震源地は相模湾の沖合とここから近く、マグネチュードは8級だった。
- ▶ 自分は3才の時に、1945年の三河地震を体験したが、戦争中で隠された大震災だった。1944年の東南海大地震も隠された震災で、調べに行った人は憲兵に捕まり、なかなか釈放してもらえなかった。軍事政権下の震災は、なかなか救助に人が回らず、調査結果も隠されている。
- ▶ その中でも、我々は関東大震災時の海軍撮影の空撮写真を発見した。震災後の写真は恵比寿の防衛研究所にあったが、機密事項にあたる横須賀の写真は全く見つからなかった。しかし、逗子の市民交流センターで写真展を行った時、当時の飛行機乗りの方の家からアルバムを入手できた。航空写真は、横須賀と佐世保海軍航空隊が写真を撮影した。陸軍は所沢から飛行船に乗って撮影し、その写真は皇室に献上され、一部は新聞等の限定で利用された。
- ▶ 逗子の震災直後、9月9日の写真がある。海岸の別荘はほとんど流されている。逗子海岸に別荘を持っていた当時のベルギー大使は、震災当日サーフィンをしていて、海の中で地震を体験した。一緒にいたフランス大使令嬢はサーフィン時に波にさらわれたが、津波によって戻ってきたという嘘のような実話がある。
- ▶ 小坪湾の津波(7.7m)については、小坪の床屋さんの遺品から版画が発見された。当時、地震があつたら崖崩れを避けるため砂浜に避難するよう言われたため、人々は砂浜にいたという。
- ▶ 逗子の池田通りから中心部にかけて、もともと湿地帯だったところは、地震により液状化し大きな被害がでた。

担当 服部

ニコニコBOX本日合計

¥30,000

累計 ¥856,000

松田君…54年ぶりの雪です。生まれる前ですね。蟹江様、卓話宜しくお願い致します。  
宝子山君…蟹江康光様、雪の中、卓話ありがとうございます。  
村松君…半世紀ぶりの11月の雪、冬来たりなば春遠からじ、卓話楽しみ！  
鈴木(安)君…川上会員主催の仲町台コンサート大盛況おめでとう  
鈴木(久)君…元気で仕事をしています。  
安藤君…私共の結魂50周年の感謝で山口県の本部道場へ行って来ました。  
矢部(光)君…東京54年ぶり11月の初雪、オドロキ！蟹江康光様スピーチ楽しみです。  
船津君…蟹江さんスピーチよろしく。  
毛利君…お寒いですね。元気です。  
湊屋君…寒いですね。  
三宅君…寒い寒い

矢部(房)君…関東大震災の卓話ぜひ拝聴たく思いますが、母提寺の大師講の為出席できず残念です。  
臼井君…鎌倉ハイランドは積雪2cmです。  
桐田君…今日は思わぬ雪で半日しまいです。  
山本(由)君…大雪で家まで帰れるか心配です。  
服部君、匂坂君…蟹江様宜しくお願い致します。  
岡本君…11月の雪は1962年誕生年以来だそうです。  
川上君…昨日コンサート成功に終わりました。  
清水さん…雪の中ごころうさま。  
横山君…昨日川上さんのコンサート行ってきました。  
小西君…逗子の雪の海(雪)を初めて見ました。神秘的でした。  
中根君…54年ぶりの記録的大雪、まだ生まれてない

【出席報告】会員数52名(出席免除5名)  
出席者 24名 48.97%